

サステナブル投資

サステナブル投資とは何か、
どのように関わることが
できるのか？





第1節

サステナブル投資の紹介

サステナブル投資とは
何ですか？

投資の専門家は、投資判断を行う際に、資産の財務パフォーマンスやグローバルなインパクトに影響を及ぼすさまざまな要因等を考慮します。サステナブル投資とは、環境・社会・ガバナンス(「ESG」)要因を財務指標と並行して考慮し、投資の長期的な実行可能性を検討するアプローチを指します。これは、ESG要因が投資の財務パフォーマンスにどのような影響を与えるかを検討するか、またはその投資を行うことで特定の環境目標または社会目標の達成を目指すかのいずれかの形をとることが多いです。

サステナブル投資へのアプローチは、金融機関や特定の国の規制によって、大きく異なる可能性がある点には注意が必要です。

それはなぜ重要なのですか？
その目的は一体何ですか？

投資家は伝統的に、金銭的なリターンの達成にまず関心と責任を持っており、サステナブル投資に関連する気候変動や労働者の権利などの環境や社会的な要因は、あまり関係のないものとして捉えられてきました。しかしここ数十年で、企業や経済全体の財務パフォーマンスに影響を与える気候や社会情勢に対する投資家の理解が深まり、投資家の意思決定にこれらの問題が組み込まれるようになってきました。

例:インターネットを通じた単発の仕事で回る「ギグ・エコノミー」は、フードデリバリーやタクシードライバーなどの不安定な労働条件でよく知られています。ギグ・エコノミーに関わる企業にすでに投資している、あるいは投資を計画している投資家にとっては、雇用規制の進化による労働条件の変化などを十分考慮することは、潜在的な財務上の損失を回避するための鍵となるかもしれません。

同時に、より多くの人々が、金銭的なリターンを得るだけでなく、自分の資金をどのように投資するかによって、現実世界にポジティブな変化をもたらすことができると認識しはじめています。これは、金銭的なリターンに加えて現実世界での具体的な成果も視野に投資をしたり(インパクト投資)、物議を醸す企業や、国際的に共通の人権・労働権協定に違反したような企業や業界を除外したり(スクリーニング)することで、達成を目指します。

インパクト・ファンドが注目する事業活動の例としては、手ごろな価格での教育や食料、マイクロファイナンス、ヘルスケア、再生可能エネルギー・プロジェクトに資金を提供する社会的な企業などがあります。このような活動に従事する企業に投資することで、その企業は資金を得ることができます。

「ネガティブ」(つまり価値観に基づく)スクリーニングは、アルコール、タバコ、軍事兵器などの、特定のセクターや製品への投資を避けることが目的の一つです。

主な用語(Key terms)

ESGとは「環境」「社会」「ガバナンス」を指し、投資判断の過程で考慮することができます。一般的なESG要因としては以下:

- 環境:気候、自然と生物多様性、汚染
- 社会:平等、人権、労働者の権利、現代奴隷、ダイバーシティ、消費者保護
- ガバナンス:取締役会、役員報酬、リスク管理

倫理に基づく投資(Ethical投資)とは、通常、積極的な社会変革を推進する事業活動への投資や、タバコ、アルコール、物議を醸す武器などの生産・販売に関わる企業を積極的に排除する投資が一般的です。このアプローチは、社会的責任投資(SRI)と呼ばれることもあります。

インパクト投資とは、財務上のリターンと同時に、特定の環境や社会的な成果を追求する投資戦略を指します。

個人貯蓄口座(ISA)とは、英国の貯蓄口座の一種で、個人が税効率の高い方法で貯蓄や投資を行うための仕組み。英国政府はISAに貯蓄できる年間限度額を定めており、2024年の限度額は年20,000ポンドです。ISAと他の貯蓄口座の主な違いは、税効率の高い金利やキャピタルゲインを提供することです。

責任投資とは、サステナビリティ、ESG、SRI、インパクトなどの考慮を含む、一連の投資手法を指します。

スチュワードシップには、投資家が持続可能な成果を追求するために影響力を行使できるさまざまな方法が含まれます。例えば、投資先企業に対して変わるべき内容を株主の立場からコミュニケーションしたり(**エンゲージメント**)、企業の経営戦略に対する賛否を表明するために**議決権を行使**したり、**株主総会決議案**を提出したりすることです。

サステナビリティの文脈における**ダイベストメント**とは、サステナビリティに関連した企業行動が不十分であることを理由に、特定の企業への投資を売却することを指します。例えば、ある企業が、このテーマに関する投資家のエンゲージメント努力にも関わらず、炭素排出量の削減に取り組まなかった場合などです。

グリーンウォッシング(Greenwashing)とは、サステナビリティに関連したマーケティングやコミュニケーションにおいて、企業や製品の持続可能性に関するパフォーマンスを明確に、あるいは正確に説明しておらず、誤解を招きかねない記述や過大な主張が含まれるようなケースを指します。

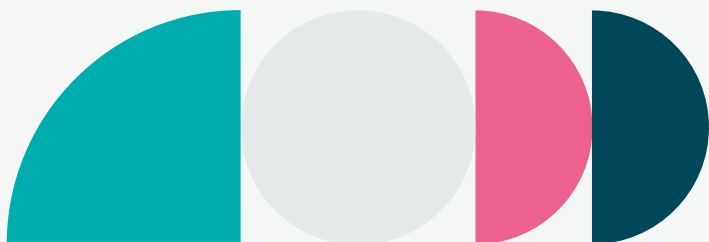
コーポレート・サステナビリティとは、環境、社会、ガバナンスの成果を向上させることを目的とした企業自身の活動を指します。

アクティブ運用ファンドとは、特定のベンチマークと比較してより高いリターンを達成するために、どのような企業に投資するか、あるいはどのような企業から投資・売却するかをファンド・マネージャーが決定するファンドを指します。

パッシブ運用の投資ファンドは、特定のベンチマークの保有銘柄を複製することで、そのベンチマークの金銭的リターンを再現することを目的としています。例えば、FTSE100指数に連動するパッシブ・ファンドは、同指数を構成する株式に同様の比率で投資します。上場投資信託(ETF)は、パッシブ運用ファンドの代表的なタイプです。

株式とは、企業の所有権の単位を指します。株式を購入することで、投資家は年次総会(AGM)で戦略的事項について議決権を行使し、配当や株価の上昇を通じて潜在的な金銭的リターンを受け取る権利を得ることができます。

債券は、投資家から企業や政府(借り手)に向けられた融資という形の金融商品です。借り手は、一定期間(満期日)後に債券の価値を利子とともに投資家に返済することが期待されています。



第2節

金融商品の種類

普通預金と貯蓄預金:

銀行は、消費者が支払いを受けたり、支払いを行ったり(Current account:普通預金)、お金を貯めたり(Saving account:貯蓄預金)できるようなサービスを提供しています。銀行の顧客であるあなたの預金は、個人や企業に貸し出すことができる銀行の資金の一部を形成しています。銀行は利益を上げるために、提供するサービスに対する手数料と、貸し出す資金に対する利息を徴収します。

貯蓄預金は、投資(価値が増減する可能性がある)に比べて安定性と安全性が高いため、多くの消費者に人気のある選択肢です。消費者が貯蓄預金を選ぶ際に考慮する必要がある主な金融機能は以下の通りです:

- 金利(金利が高いほど有利);
- 貯蓄を口座に残すべき最低期間に関する規則、および
- 資金を引き出す前に通知を行う必要があるかどうか。

住宅ローン(Mortgages):

住宅ローンとは、不動産を購入する目的で銀行(またはビルディング・ソサエティなど他の認可されたプロバイダー)から融資を受けるタイプのローンです。住宅ローンを利用する場合、消費者は融資された金額に利息を付けて返済する必要があります。消費者が返済を続けられなくなった場合、銀行は不動産を管理し、売却することができます。

もしサステナビリティがあなたの優先事項であれば、環境・社会問題への銀行のアプローチを考慮に入れることもできます。例えば、化石燃料やタバコのような、環境汚染の激しい産業や物議を醸すような産業に投資しているかどうかなどです。経済において銀行が果たす重要な役割を考えれば、気候変動などの持続可能性の問題に対する銀行のアプローチは、大きな影響力を持つ可能性があります。

イングランド国教会(the Church of England)の年金委員会は、最近、気候変動への対応における銀行の役割について、グローバルな銀行等にエンゲージメントを行っています。強力なサステナビリティ方針とコミットメントを持つ銀行を選ぶことは、持続可能な金融エコシステムに対する支持を示すことになるからです。また、銀行やビルディング・ソサエティでは、グリーン・エネルギーや社会的企業などサステナブルな資産への投資にのみ資金が使われる、「グリーン」またはサステナブルな貯蓄専用口座を導入するケースが増えています。こうしたサービスを利用すれば、消費者の資金が社会や環境に有害な経済活動の支援に使われることはありません。また、一部の金融機関は「グリーン・モーゲージ」を提供しています。これは、消費者がエネルギー効率の高い物件を購入したり、既存の物件をより効率の高いものにしたりする場合に、優遇条件(住宅ローン金利の引き下げなど)を提供するものです。

銀行やビルディング・ソサエティに何を聞くべきですか？

- サステナビリティに関する銀行全体のポリシーはありますか？
- サステナビリティ性に関連した融資の取り組み姿勢はどうか？例えば、関連する業界標準や国際的なフレームワークへの準拠を求めたり、または企業やプロジェクトが環境に著しく害を及ぼしたり、物議を醸す武器の製造や販売に関与している場合に制限を求める、などです。
- サステナブルな貯蓄口座を提供していますか？その資金は何に使われますか？
- グリーン・モーゲージを提供していますか？その要件は何でしょうか？

年金基金(Pension funds)

年金基金は退職金口座とも呼ばれ、退職後の個人の経済的ニーズをサポートするために特別に設計された貯蓄口座の一種です。消費者と彼らの雇用主が年金基金に資金を拠出すると、その資金は年金ファンドマネージャーのような金融機関によって管理される可能性が高く、金銭的リターンを達成するためにその資金は金融市場に投資されます。こうした場合、年金スキームのために資産運用会社が運用するパッシブ・ファンドやアクティブ・ファンドに投資することになります。

サステナブル投資の選択肢を検討したい消費者は、年金制度のウェブサイトの関連ページを確認するか、制度の担当者に直接連絡を取ることから始めることができます。利用可能なサステナブル投資の選択肢が現状ない場合、消費者は、年金基金に連絡し、将来的にサステナブル投資商品を開発するよう提案するか、他の年金基金への加入を検討することができます。

年金基金の運用担当者に何を聞くべきですか？

- ・サステナビリティに関する方針とコミットメントを教えてください。
- ・年金基金への貯蓄者にサステナブル投資の選択肢を提供していますか？「はい」の場合、その対象や目的は何ですか、どのようなアプローチを使用していますか(ESG、SRI、インパクト、その他-「主な用語」参照)？「いいえ」の場合、近い将来、サステナブル投資の選択肢を導入する予定はありますか？
- ・現在ファンドが投資している資産の上位10位までの内訳を教えてください。
- ・私の年金の中で、物議を醸している産業（あなたの期待に応じて、化石燃料、タバコなどが含まれる場合があるかもしれません）に投資されている金額はどのくらいですか？

サステナブルファンドについての更なる情報は、「サステナブルファンド・ラベルの概要」で参照

個人による投資 (貯蓄預金口座経由など):

銀行口座にお金を預けて利息を得るだけでなく、消費者は金融市場のさまざまな資産に個人で投資をすることができます。これらの資産とは、企業の株式、社債、国債、パッシブまたはアクティブな投資ファンドなどです。これらの資産の価値は時間の経過とともに上昇する可能性があるため、目標は最初に支払った価格と比較して価値の成長から利益を得ることです。この方法は、単に銀行の貯蓄預金口座にお金を入れておくよりも大きな利益を得られる可能性がある一方で、資産価格が下落し、投資家が損失を被る可能性もあるため、リスクも高くなります。

もし消費者が、自分の価値観やサステナビリティの嗜好に沿った企業に資金が投資されていることを確認したいのであれば、投資しようとしているファンドや企業のサステナビリティへのアプローチを調査し、特定する必要があります。サステナビリティへの配慮を含むファンドの投資アプローチに関する情報を見つけるには、ファンドの投資家主要情報文書(key investor information documents)、または「目録見書」を検索しましょう。企業のサステナビリティへのアプローチに関する情報は、その企業のウェブサイト、または年次報告書やサステナビリティ報告書等で見つけることができます。消費者は、企業に直接投資したり株式を所有したりすることで、株主提案の中でサステナビリティに関する希望を表明したり、年次総会で他の株主が提出した提案に賛成票を投じたりすることで、企業に影響を与えることができる株主となることもできます。

サステナブルファンドについての更なる情報は、「サステナブルファンド・ラベルの概要」で参照

投資ファンドのサステナビリティに対する アプローチについて、 ファイナンシャル・アドバイザーや ファンド・マネージャーに何を聞くべきですか？

- ・このアプローチはどのような種類の資産を対象としていますか？（例えば、株式や債券など）
- ・なぜこのアプローチをこのファンドに選択したのですか？
- ・サステナビリティに対するアプローチにスチュワードシップと資産売却の可能性が含まれる場合、スチュワードシップのアプローチと資産売却を考慮するタイミングが説明されている明確なエスカレーション・プロセスがありますか？
- ・投資決定を行う前に、どのようなデータを考慮していますか？
- ・気候変動、人権、その他のサステナビリティ問題への解決策への投資を増やす計画はありますか？ある場合はその内容を教えてください。



サステナブルファンド・ラベルの概要

サステナビリティ重視のファンドには、通常、ファンド名に関連用語（例えば、「サステナブル」、「ESG」、「倫理的(Ethical)」、「インパクト」など）が含まれます。英国の金融規制当局は、消費者にサステナブルな投資についてより明確な情報を提供するため、サステナブルな投資ファンドに特定のラベルを導入しました。これらのラベルは2024年7月から発効し、2025年初頭までに完全実施される予定です。

Sustainability Impact: サステナビリティ・インパクト

このファンドは、環境的及び／又は社会的な成果に関し、定義された測定可能なプラスの影響を達成することを目的とし、その目的のために資産の70%以上を投資します。

Sustainability Focus: サステナビリティ・重視

明確な根拠に基づく基準に従って、ファンドの資産の70%以上を環境及び／又は社会的にサステナブルに投資をする必要があります。

Sustainability Improvers: サステナビリティ向上型

このファンドは、確固とした根拠に基づく基準に従って、長期的に環境的及び／又は社会的持続可能性を向上させる可能性のある資産に、少なくとも70%は投資することを目指します。

Sustainability Mixed Goals: サステナビリティ・ミックス・ゴール

このファンドは、資産の少なくとも70%を、他のラベルで説明されているサステナビリティの目標とアプローチに適合するように投資をします。



第3節

英国居住者向けの 金融アドバイスとリソース

消費者はまた、年金、貯蓄、その他のファイナンシャル・プランニングに関する専門的なアドバイスを受けるために、資格のあるファイナンシャル・アドバイザーに相談することもできます。英国では、アドバイザーは顧客の投資の選好や目的について話し合うことが義務付けられています。つまり、顧客はサステナビリティ関連の選好をまずアドバイザーに伝え、アドバイザーはそうした選好を考慮した上で提言を行うのです。

金融のアドバイスを求める際に、消費者が直面する可能性の違いの1つは、アドバイザーが「独立(Independent)」なのか「制限付き(Restricted)」とされているかどうかの違いです。どちらも英国の金融規制当局による承認が必要であり、同様の資格が必要ですが、重要な違いもあります：

- 独立ファイナンシャル・アドバイザー(IFA)は、特定の金融機関と提携関係がなく、利用可能なあらゆる金融ソリューションや商品について助言することができます。
- これに対し、制限付き(または認可された)ファイナンシャル・アドバイザー(FA)は、市場全体ではなく、認可された一部の商品についてのみ助言することができます。

あなたのファイナンシャル・アドバイザーが「独立」か「制限付き」かを
知るには、制限付きまたは独立した金融アドバイスを提供しているかど
うかを書面で照会し、確認を求めるのが最善です。

ファイナンシャル・アドバイザーに 何を質問すればよいですか？

- サステナビリティに関する私の好みや価値観を、どのように投資判断に反映させられるでしょうか？
- サステナビリティに関する選好は、ポートフォリオのリスクとリターンにどのような影響を与えると考えますか？



英国特有のリソース:

- ➡ FCA Financial Services Register
- ➡ Consumer rights with financial services
- ➡ MoneyHelper (government-supported money and pension guidance)
- ➡ Money.co.uk – An introduction to ESG investing
- ➡ FCA sustainable investment labels and anti-greenwashing
- ➡ UKSIF's Find a Financial Adviser directory
- ➡ Make my Money Matter



免責条項

重要な情報

本資料は一般的な情報提供のみを目的としています。また、特定の投資目的、財務状況、ニーズを考慮したものではありません。投資に関する決定を行う前に、ファイナンシャル・アドバイザーの助力を得て、個々の投資ニーズ、投資目的、財務状況を検討する必要があります。

当社は、本資料が発行日現在において正確、最新かつ完全であり、その意図する目的および対象者に適合するよう合理的な注意を

払っています。本資料の正確性、有効性、完全性に関して、いかなる保証を与えるものでも、責任を負うものでもなく、将来、状況が変化した場合に更新することを約束するものでもありません。

本資料に意見表明や将来の見通しに関する記述が含まれている場合、そのような意見および記述は、発行時点において真実かつ信頼できると考えられる仮定、事項、情報源のみに基づいています。

ご留意事項

MUFG ファースト・センティア サステナブル投資研究所は、三菱UFJ 信託銀行およびその傘下にあるファースト・センティア・インベスターズグループが共同してサステナブル投資に関する調査・研究・レポート作成などの業務を対外的に行う際の呼称です。

本資料は、三菱UFJ信託銀行サステナブルインベストメント部が発行しています。

本資料は、MUFG ファースト・センティアサステナブル研究所がサポートをしてUK Sustainable Investment and Finance Associationが発行した「Sustainable Investment What it is and how you can get involved?」(英語版)を、三菱UFJ信託銀行が日本語訳したものです。極力内容に忠実に日本語訳をしておりますが、万が一これら両言語の内容に相違があった場合には、英語版が正となることを予めご了承ください。

本資料は、お客さまに対する情報提供のみを目的としたものであり、三菱UFJ 信託銀行およびファースト・センティア・インベスターズグループが特定の有価証券・取引や運用商品を推奨または勧誘するものではありません。

本資料に記載されているデータ、意見などは本資料作成時点で信頼できるとされる情報に基づき作成したものです。三菱UFJ信託銀行およびファースト・センティア・インベスターズグループは、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性を保証するものではなく、また、当該データ、意見などを使用した結果についてもなんら保証するものではありません。また、本資料に関連して生じた一切の損害について、三菱UFJ 信託銀行およびファースト・センティア・インベスターズグループは責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報および見解は当該団体のものであり、必ずしも三菱UFJ 信託銀行およびファースト・センティア・インベスターズグループのものではありません。

本資料の著作権その他の知的財産権は三菱UFJ 信託銀行およびFirst Sentier Investors (Australia) Services Pty Limitedに属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

本資料に記載している見解などは本資料作成時における判断であり、経済環境の変化や相場変動、制度や税制などの変更によって予告なしに内容が変更されることがありますので、予めご了承ください。

© First Sentier Investors Group

UK Sustainable Investment and Finance Association

- ✉ info@uksif.org
- 🌐 www.uksif.org
- ☎ +44 (0) 20 7749 9950
- @ uksif

本ガイドにご協力いただいた以下の方々に感謝します:

 **First Sentier**
Investors

MUFGファースト・センティア
サステナブル投資研究所